



エコ・そうか

■ 人と自然が共に生きるまち そうか ■

6月20日号

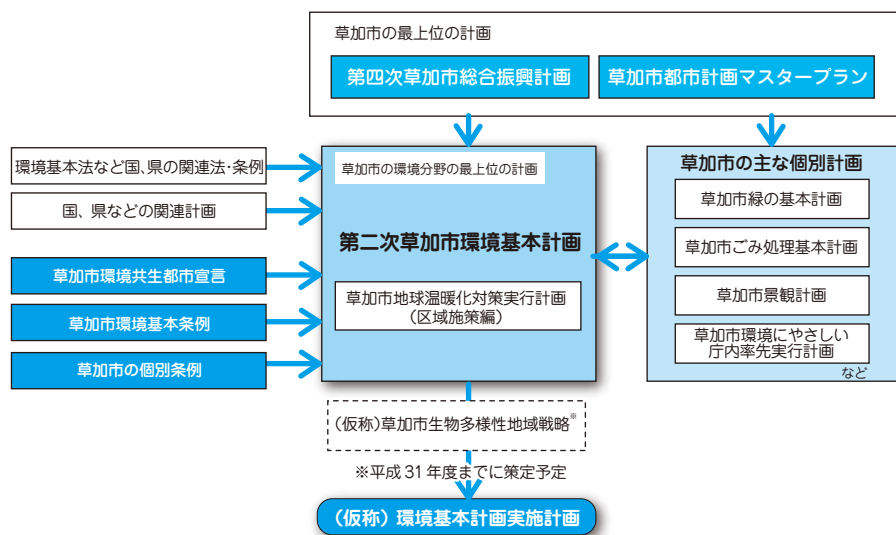
2016/平成28年

発行 草加市市民生活部環境課
〒340-8550
草加市高砂1-1-1
☎ 048-922-0151(代表)
環境推進係 922-1519
公害対策係 922-1520
FAX 048-922-1030

第二次草加市環境基本計画を策定しました

～人と自然が共に生きるまち そうか～をめざして

草加市環境基本計画は、草加市のめざす環境共生都市宣言の実現にむけた環境分野における総合計画で、草加市環境基本条例第8条に基づき策定しています。平成12年に策定した前計画の計画期間が満了することから全面見直しを行い、平成28年3月に新たに策定したものです。平成24年に策定した草加市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の見直しの時期に当たったことから、これを含めた計画として位置づけています。



■計画期間 平成28年度から平成47年度までの20年間

計画期間が長期にわたるため、4年ごとに見直しを行います。

■推進主体

「人と自然が共に生きるまち そうか」の実現に向け、市民、事業者、市のそれぞれが自主的な活動に加えて、三者が協働しながら推進を図ります。

環境目標1 水環境の保全と創造～水と共生するまちを創ろう～

環境目標2 身近な自然の保全と創造～生きものと共生するまちを創ろう～

環境目標3 低炭素社会の推進～地域と地球に優しいまちを創ろう～

環境目標4 生活環境の保全～安心して快適なまちを創ろう～

環境目標5 環境に配慮した行動の実践と拡大～環境に配慮した行動を実践しよう～

■重点プロジェクト

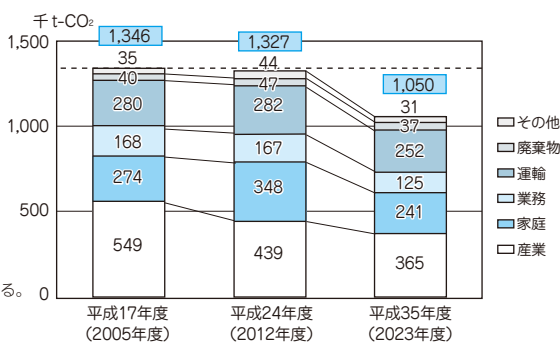
計画に基づく環境施策のうち、次回の中間見直しまでにとくに重点的に取り組むべき施策を「重点プロジェクト」として位置づけ、市民・事業者・市の協働により取り組むこととしました。

重点プロジェクト 1

省エネ・緑化による低炭素化の推進『草加市地球温暖化対策実行計画 区域施策編』

家庭や事業者における省エネ行動の促進や緑化によるまちの低炭素化を推進し、市域から排出される温室効果ガスを削減します。

●温室効果ガス排出量の削減目標



草加市の温室効果ガス削減目標
平成35年度(2023年度)までに
平成17年度(2005年)比で
市内の温室効果ガス総排出量を22%削減する。
(市民1人当たりに換算すると24%削減)

重点プロジェクト 2

生物多様性の保全と活用『草加市生物多様性地域戦略』の策定に向けて
市民・事業所・市の協働により、生きものを守り、育てることや生物多様性の保全に参加するなどの取り組みを進め、生物多様性の保全に向けた基盤づくりを行います。

重点プロジェクト 3

そうかエコタウンプロジェクトの推進

谷塚西口町会・谷塚南町会地域をエコタウン重点実施街区として指定し、県と連携・協力しながら、既存住宅のスマートハウス化や地域のエコ化などを集中的に進め、その成果を全市に広げていきます。

環境施策の総合体系

環境像	人と自然が共に生きるまち そうか		
第四次 基本構想	快適な環境 ～環境にやさしい水とみどりのまちをつくる		
	環境目標	環境施策の柱	取組方針
総合振興計画	水環境の保全と創造	水質浄化対策の推進	河川浄化対策の推進 公共下水道の推進
		親水空間の創造・維持管理の推進	多自然川づくりの推進 河川環境の維持管理の推進
環境との共生	身近な自然の保全と創造	生きものと共生するまちづくりの推進	自然環境の調査 生きものの生息・生育環境の保全 生きものとふれあえる空間の創造
		みどりの保全と創出	公園整備や公共用地の緑化推進 民有地内の緑化対策の推進 緑化活動への支援
環境と共生	低炭素社会の推進	省エネルギー・創エネルギーの推進	温室効果ガス排出量削減対策の推進 資源・エネルギーの有効活用の推進 再生可能エネルギーの活用の推進 低炭素型まちづくりの推進
		3R(発生抑制・再利用・再生利用)の推進	ごみの減量化と分別収集の普及・啓発 環境にやさしい消費者の育成・支援 リサイクルの推進
環境と共生	生活環境の保全	気候変動適応策の推進	気候変動に伴う適応策の推進
		公害防止対策の推進	公害防止対策の推進 監視・測定体制の充実
環境と共生	環境に配慮した行動の実践と拡大	快適なまちなみの形成	環境美化対策の推進 まちなみ景観の向上
		学校・地域における環境教育・環境学習の推進	学校における環境教育の推進 地域における環境学習の推進
環境と共生	環境に配慮した行動の実践と拡大	環境に配慮した行動及び生活の実践	エコライフの普及・啓発 地域の環境保全活動の充実 環境に配慮した活動への支援 環境保全情報の収集と提供

※ 部分の環境施策の柱及び取組方針は、『草加市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)』を構成する部分

主な内容

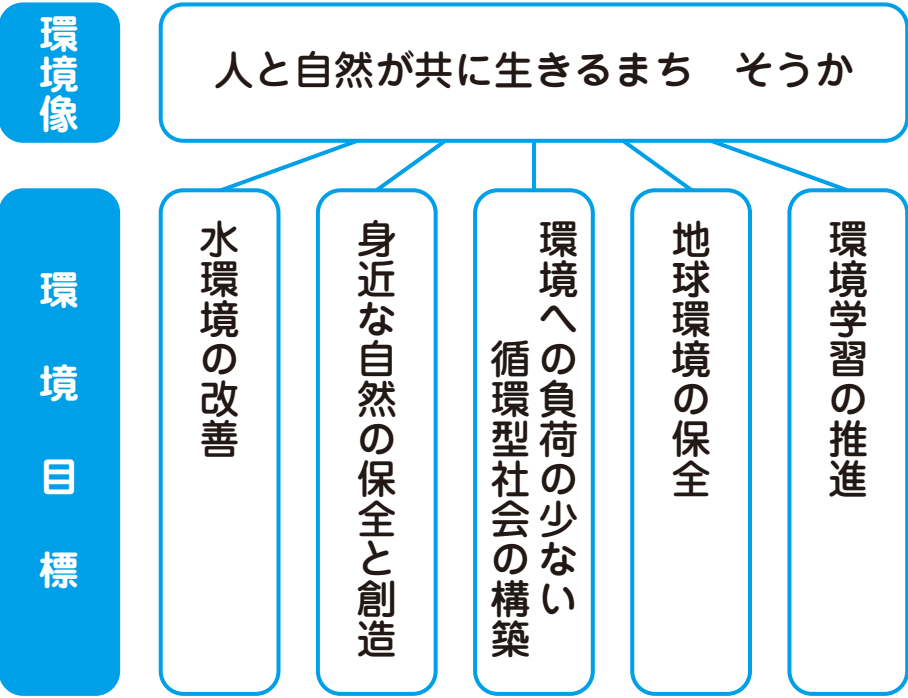
- 第二次草加市環境基本計画を策定しました 1
- 平成27年度草加市環境基本計画の取組状況 2、3
- 生きもの調査員募集 4
- 光化学スモッグにご注意を！ 4
- ネコは屋内で飼いましょう 4

- 雑紙は大切な資源です 4
- 地球温暖化防止活動補助金受付中 4
- 県の浄化槽転用雨水貯留施設設置費の補助金 4
- 草加環境推進協議会会員を募集 4

平成27年度草加市環境基本計画の取組状況

平成12年3月に策定した「環境基本計画」に基づき、15年間にわたり、「人と自然が共に生きるまち そうか」の実現に向け、市はさまざまな取組を進めてきました。平成27年度は、計画の最終年度となることから、これまで取り組んできた施策について報告します。

達成目標は大半の目標を達成できましたが、環境問題や社会状況等の変化などから達成できなかった目標もみられます。この視点から見直し等を進め、平成28年3月に新たな第二次環境基本計画を策定し、今後さまざまな取組を展開してまいります。



☆環境基本計画の概要☆

目的

市民、事業者、行政にとって、共通の目標となる環境の将来像「人と自然が共に生きるまち そうか」の実現をめざし計画を策定しました。

取組主体

今日の環境問題を解決し、私たち、そして、次世代にとって快適な生活が送れる「環境にやさしいまち」をつくるために、市民、事業者、行政の三者で協働して取り組みます。

取組期間

計画の目標期間は、草加市の他の計画（草加市総合振興計画や草加市都市計画マスタープラン等）と整合性を図り、平成27年度までとしています。社会・経済情勢の変化等に対応するため5年ごとに見直しを行い、平成22年3月に改定しました。

平成28年度からは、新たに策定した第二次草加市環境基本計画に基づいた取組を実施していきます。

草加市環境基本計画達成目標に対する実績

		目標値達成							
環境目標	環境指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	目標値 (平成27年度)
水環境の改善	河川の水質(BOD75%値)								
	綾瀬川(中曽根橋)	mg/ℓ	4.5	4.4	4.4	4.1	3.6	3.4	3.5mg/ℓ
	綾瀬川(手代橋)	mg/ℓ	4.6	4.7	4.5	4.5	3.5	3.8	3.5mg/ℓ
	古綾瀬川(綾瀬川合流点前)	mg/ℓ	4.5	7.2	7.9	7.3	4.4	6.9	5.0mg/ℓ
	伝右川(伝右橋)	mg/ℓ	3.4	3.6	3.6	4.4	2.9	3.6	3.5mg/ℓ
	毛長川(鷺宮橋)	mg/ℓ	3.2	3.8	3.7	4.4	2.5	3.3	3.5mg/ℓ
	辰井川(上町境橋)	mg/ℓ	5.6	4.1	5.7	4.6	3.6	4.5	5.0mg/ℓ
	公共下水道普及率	%	90.7	90.8	91.3	91.6	92.0	92.3	94.5%
	多自然型護岸の河川延長(葛西用水等)	km	5.72	6.11	6.11	6.60	6.80	7.00	7.0km
身近な自然の保全と創造	確認された魚等の種類÷目標種類(15種類)	%(種類)	80(12)	80(12)	80(12)	86.7(13)	86.7(13)	86.7(13)	86.7%(13種類)
	ビオトープの整備面積及び箇所数	m ² 箇所	62,900 16	62,928 17	62,928 17	67,929 18	68,645 19	68,645 19	67,900m ² (累計) 21箇所
	市の面積に対する緑地の割合	%	9.6	9.7	9.7	9.7	9.6	9.5	11.6%
	市民1人当たりの都市公園面積	m ² /人	1.77	1.77	1.77	1.84	1.93	1.93	3.7m ² /人
環境への負荷の少ない循環型社会の構築	市民1人1日当たりの可燃ごみの排出量	g/人・日	543	544	540	531	523	523	550g/人・日
	資源化率(ビン・カン・古紙類等)	%	20.4	20.5	19.9	20.1	20.0	19.6	20.8%
	市におけるグリーン購入の実績	%	99.7	99.9	98.0	99.7	99.4	99.6	100%
	太陽光発電システムの年間発電量	kWh/年	2,922,669	4,331,233	5,945,071	9,000,189	10,307,530	11,591,862	4,000,000kWh/年 (累計)
	環境調査の環境基準達成割合(大気、水質、ダイオキシン類等)	%	86.1	88.9	92.1	87.5	90.0	95.0	94.4%
地球環境の保全	市の施設から排出される温室効果ガスの量(二酸化炭素換算量)(平成20年度比)	トン(%)	21,707 (11.5増)	18,184 (6.6減)	18,451 (5.2減)	17,255 (11.4減)	17,542 (9.9減)	18,895 (3.0減)	18,000トン (20年度比7%減)
	保有車のエコカーの割合(市役所)	%	21.0	20.0	19.0	20.3	19.4	21.7	50% (特殊用途車を除く)
	エコライフに取り組んだ市民の数及び二酸化炭素削減量	人(対人口%) kg	40,433(16.6) 28,472	51,772(21.2) 37,338	58,861(24.1) 41,912	64,125(26.2) 49,536	71,655(29.2) 62,511	68,895(28.0) 65,570	36,000人(対人口比15%) 30,000kg
	ISO14001等取得による環境活動取組事業所数	事業所	49	49	51	51	51	51	70事業所
	地球環境に関するフォーラム等の参加者数	人	6,845	7,237	7,712	8,443	9,263	10,118	8,000人(累計)
環境学習の推進	環境学習に係る講座等の開催数	回	124	163	199	241	286	322	350回(累計)
	環境学習参加者数	人	11,606	14,263	16,629	19,669	23,217	25,333	38,000人(累計)

水環境の改善

綾瀬川流域（綾瀬川、伝石川、毛長川等）の汚濁負荷割合は、生活系が約57%、事業系が約43%となっており、生活系が6割程を占めています。水質の改善を図るには生活排水対策を推進するなど、さらに努力する必要があります。



エコ・クッキング教室

素材を使い切り、できるだけごみや汚れた水を出さず、省エネルギーに配慮した料理方法の普及を図るため開催しています。平成27年度は、20人が参加しました。

綾瀬川再生21事業

綾瀬川への関心を深め、市民共有の財産として愛着や思い入れを持ってもらうため、綾瀬川及び左岸広場で、ふささら祭りと同時間開催しました。啓発ブースには多数の来場者が訪れ、Eボートに176人が乗船しました。



地球環境の保全

近年の異常気象は地球温暖化によるものといわれています。その解決と軽減に向け、今後とも低炭素社会の実現に向けた取り組みを推進します。

環境にやさしい市役所庁内率先実行計画

平成12年度に市は草加市環境にやさしい庁内率先実行計画を定め、環境に配慮した市役所内の事務の推進を行っています。平成22年度を基準として、二酸化炭素換算の排出量20,622トン(−5.0%)を目標に取り組んだ結果、平成27年度は基準年度より2,812トン(−13.0%)を削減できました。

そうかエコタウンプロジェクト

谷塚中央通りにサイン付きの自立型LED避難誘導灯13基と避難誘導案内板を設置したほか、谷塚小学校通り（谷塚駅から谷塚小学校まで）に共架式LED避難誘導灯10基を設置しました。照明は太陽光発電による電力を蓄電池に蓄え、その電力を使用しています。大規模災害等により停電となっても照明が確保でき、指定避難所の谷塚小学校まで夜間の避難を誘導します。



ビオトープの整備

新栄4丁目にある綾瀬川バードサンクチュアリ内にあるトンボ池から鳥と友だち広場への水路の改修と観察路の整備を行いました。



子ども自然観察教室

草加市内を流れる毛長川と日高市の高麗川で、水の汚れや生物の生息状況を調べ、比較しました。4日間で延べ27人が参加しました。



環境への負荷の少ない循環型社会の構築

ごみの減量や再資源化の取り組みが進み、ごみの排出量は減少していますが環境保全の観点から、さらなる取り組みを行っていく必要があります。

市役所新第二庁舎に再生可能エネルギー機器を導入

第二庁舎の建て替えに伴い、太陽光発電パネル10kWと蓄電池15kWhを導入しました。平常時は電力の一部として活用するほか、大規模災害等による停電時にも電力を供給し、災害拠点となるものです。



資源循環を目的として、毎月第2日曜日に環境業務センター、毎月第4土曜日にリサイクルセンターで古着及び廃食油の拠点回収を実施しています。また、平成26年12月から市内のコミュニティセンター等13箇所の公共施設に古着の回収ボックスを設置し、拠点回収を開始しました。当該13箇所の公共施設を含む15箇所の公共施設では、古着のほか、使用済小型家電のボックスを設置し、拠点回収を行っています。平成27年度は、古着62,635kg、小型家電67,790kgを回収しました。



環境学習の推進

環境に対する理解を深めるための一助として環境学習を展開してきました。今後も学習機会を設けていきます。

野鳥観察会

柿木公民館の周辺の田んぼ等で野鳥を観察しました。28人が参加し、21種類の野鳥を観察しました。



子ども環境サミット

児童・生徒が環境問題について取り組んだ成果を発表する場として、草加環境推進協議会、一般社団法人草加市コミュニティ協議会の後援で開催しました。川柳小学校と清門小学校の2校の生徒と獨協大学の学生が講演を実施し、約200人が参加しました。



生きもの調査員募集

市内に生息・生育する動植物について、市民参加による生きもの調査を実施します。家の周りや身近な場所で調査してみませんか。

■集合調査

回数	日程	時間	内容
1	6/24(金)	18:30～20:00	オリエンテーション 講演 場所：中央公民館
2	7/19(火)	8:30～16:00	市内状況把握「草加の地理と環境を知ろう！」 視察(市役所バス使用)まとめ：戸塚環境センター
3	8/19(金)	9:00～12:00	生きもの調査会 場所：柿木地区(そうか公園、田んぼ、中川)まとめ：柿木公民館
4	12/17(土)	9:00～12:00	生きもの調査会 場所：新田西部綾瀬川沿い まとめ：新田西文化センター
5	(平成29年)2/26(日)	9:00～12:00	生きもの調査会 場所：葛西用水(キタミソウ) まとめ：川柳文化センター

- 応募資格
- 市内在住・在勤・在学(小学生以下の親子参加可)。
市内の動植物に関心のある人。
生きものについて学びたい人。
- 定員
- なし。ただし2回目のバス視察応募多数の場合は抽選。

■申込・問合せ

環境課

☎922-1519

FAX922-1030

HP

http://www.city.soka.saitama.jp/

地球温暖化防止活動補助金

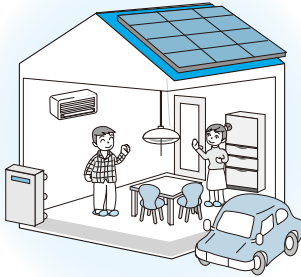
受付中

自然エネルギー等を有効に利用し、環境への負荷の少ない生活様式を築くため、次の機器等を購入・設置する経費の一部を地球温暖化防止活動補助金として交付します。(申込は平成29年2月17日まで。)

- ①太陽熱を利用した給湯器 1万円
- ②地中熱を利用した給湯器 1万円
- ③家庭用コージェネレーションシステム 1万円
- ④燃料電池給湯器 1万円
- ⑤HEMS(エネルギー管理システム) 1万円
- ⑥家庭用蓄電池 1万円
- ⑦次世代自動車 1万円
- ⑧雨水貯留施設 要した費用の半額(上限1万円)
- ⑨太陽光発電システム(1kWあたり1.5万円、限度額10.5万円)

※大規模災害時に近隣住人への携帯電話等の充電に協力する宣言・登録により1万円加算(同時申請のみ)

- ①から⑨まで重複申請可能、購入・設置をする前に環境課へ申請を。
- ※店舗や事業等で使用するものは対象外。



光化学スモッグにご注意を!

市では、光化学スモッグ注意報や警報が発令された場合には、公共施設等に掲示板を掲げて、皆様にお知らせしています。

光化学スモッグ注意報等が発令されたときは、次のことに注意するとともに、被害を受けた場合は保健所または市役所に連絡してください。

- ★目やのどに刺激を感じたら屋内に入り、洗眼、うがい等を行いましょう。
- ★外出や屋外での運動を避け、また、自動車の運行を差し控えましよう。

光化学スモッグに関する情報は、次のHPへアクセスしてください。

埼玉県の大気状況ホームページ

<http://www.taiki-kansi.pref.saitama.lg.jp/>

環境省監視情報(そらまめ君)<http://soramame.taiki.go.jp/>

埼玉県大気環境課 ☎048-830-3057

■問合せ 環境課 ☎922-1520

ネコは屋内で飼いましょう

ネコを屋外で放し飼いにすると、近隣の方に糞などにより迷惑をかける場合があります。屋外にエサを放置すると、カラスやネズミが集まります。他のネコからの病気や交通事故などの危険にさらされます。平成27年度に市が道路等で回収した動物死体のうち、イヌが0匹だったのに対し、ネコは587匹でした。かわいいネコを守るためにも、ネコは屋内で飼育してください。

■問合せ

くらし安全課 ☎922-3642 FAX 922-3041

埼玉県動物指導センター南支所 ☎048-855-0484



雑紙は大切な資源です

可燃ごみは、約20パーセントが紙類ですが、その多くがリサイクル可能にもかかわらず燃やされています。雑誌、新聞紙、段ボール、紙パックのほか、ハガキやティッシュペーパーの箱、トイレトペーパーの芯などの雑紙(ごつがみ)も分ければ資源となりますので、分別にご協力をお願いします。

■問合せ 廃棄物資源課 ☎931-3972



県の浄化槽転用雨水貯留施設設置費の補助金

綾瀬川・中川の水質改善対策のため、公共下水道に接続する際に不要となる単独浄化槽を転用し、雨水貯留槽に改造する場合、市の補助と合わせて埼玉県から最大10万円の補助があります。

■問合せ 埼玉県環境部水環境課水環境担当
☎048-830-3081

草加環境推進協議会会員を募集

環境問題の解決に向け、市民・事業者・行政のパートナーシップにより、「人と自然が共に生きるまち そうか」を実現するための事業を行うことを目的として設立した草加環境推進協議会では、新規会員、または、所属団体へ加入を希望される方を募集しています。

加入団体

(順不同)

草加市町会連合会	綾瀬川の緑を愛する会
草加市ガールスカウト連絡協議会	毛長川・辰井川の水と緑を守る会
草加市ボーイスカウト連絡協議会	綾瀬川自然観察同好会 (公社)草加青年会議所
草加市すこやかクラブ連合会	草加松原ロータリークラブ
草加市くらしの会	草加市農業振興協議会
エコ生活ガイド草加	(公社)埼玉県宅地建物取引業協会埼玉東支部
生活クラブ生協	
エコキッズ草加	柴田科学(株)
(公財)埼玉県生態系保護協会 草加・八潮支部	草加パドラーズ
草加市温暖化対策連絡会	
葛西用水美化促進協議会	



■問合せ 草加環境推進協議会事務局(環境課) ☎922-1519